



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日 東

上場会社名 蛇の目ミシン工業株式会社 上場取引所
 コード番号 6445 URL <http://www.janome.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞壁 八郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大島 毅之 (TEL) 042-661-3071
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	21,297	△1.6	1,319	4.1	1,236	96.3	686	164.7
26年3月期第2四半期	21,644	13.3	1,268	30.7	629	152.0	259	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,328百万円(66.7%) 26年3月期第2四半期 796百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.55	—
26年3月期第2四半期	1.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	53,771	19,419	34.8
26年3月期	51,409	18,117	34.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 18,734百万円 26年3月期 17,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	2.9	3,000	3.3	2,700	14.7	1,800	23.2	9.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 会計方針の変更に関する注記

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	195,214,448株	26年3月期	195,214,448株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,894,151株	26年3月期	1,893,683株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	193,320,564株	26年3月期2Q	193,320,775株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) 所在地別セグメント情報	12
(2) 海外売上高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、ウクライナや中東情勢の地政学的リスクを抱えつつも、米国などの先進国を中心とした持続的な景気拡大により、総じて堅調に推移いたしました。

わが国の経済におきましては、円安ならびに消費税率引き上げによる個人消費への影響が見られるものの、雇用・所得環境の着実な改善のもと、緩やかな回復基調が続きました。

こうした中、当社グループは、引き続き原価低減や販売・管理コストの削減に取り組む一方、国内外で展示会出展などを通じて積極的な営業を行うなど、中期経営計画に基づく成長戦略の展開を図りました。

その結果、当第2四半期の総売上高は21,297百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は1,319百万円（前年同期比4.1%増）、経常利益は1,236百万円（前年同期比96.3%増）、四半期純利益は686百万円（前年同期比164.7%増）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

<家庭用機器事業>

海外ミシン市場におきましては、北米、欧州向け売上は堅調に推移いたしました。一方で、新興国経済の成長鈍化やウクライナ問題に端を発したロシア現地通貨安と急激な消費低迷により、販売台数は83万台（前年同期比14万台減）、売上高は13,237百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

国内ミシン市場におきましては、消費税率引き上げによる購買意欲減退が続いたものの、量販店向けを中心に販売を強化したことにより、販売台数は約9万台（前年同期比約4千台増）となりましたが、低価格商品販売シェア増加により、売上高は2,953百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

24時間風呂・整水器販売につきましては、売上高は573百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

以上の結果、家庭用機器事業の売上高は16,764百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益は944百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業におきましては、アジアを中心とした製造拠点における人件費上昇に対する省力化、製品・部品の小型化と作業の高精度化に対する自動化への動きを受け、卓上ロボットはスマートフォン等の携帯端末機器関連企業向け、エレクトロプレスは自動車部品業界向けを中心に順調に販売台数を伸ばし、第2四半期累計で過去最高の2,900台を販売いたしました。

以上の結果、産業機器事業の売上高は3,186百万円（前年同期比33.8%増）、営業利益は393百万円（前年同期比61.0%増）となりました。

<その他事業>

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービス、不動産賃貸収入を加えたその他事業の売上高は1,346百万円（前年同期比7.7%増）となり、営業利益は13百万円（前年同期比48.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は53,771百万円（前連結会計年度末比2,361百万円増）となりました。

資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加等により23,980百万円（前連結会計年度末比2,071百万円増）となりました。固定資産は有形及び無形固定資産の取得等により29,791百万円（前連結会計年度末比290百万円増）となりました。

負債の部は、流動負債が支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等により21,094百万円（前連結会計年度末比2,428百万円増）となり、固定負債は長期借入金等の減少により13,257百万円（前連結会計年度末比1,369百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金等の増加により19,419百万円（前連結会計年度末比1,301百万円増）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から227百万円減少し、6,074百万円（前年同期比796百万円増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,018百万円、たな卸資産の増加1,371百万円、仕入債務の増加785百万円などによる資金の増減があり、360百万円の資金の増加（前年同期は907百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備・金型等の有形固定資産の取得による支出582百万円などにより、748百万円の資金の減少（前年同期は553百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加1,419百万円、長期借入金の返済による支出1,310百万円などにより、61百万円の資金の増加（前年同期は14百万円の資金の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日に公表しました平成27年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しております。

なお、これによる影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,076	6,825
受取手形及び売掛金	6,621	7,203
商品及び製品	4,451	5,869
仕掛品	479	594
原材料及び貯蔵品	2,318	2,407
その他	1,103	1,225
貸倒引当金	△141	△145
流動資産合計	21,909	23,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,939	5,914
土地	15,049	14,881
その他(純額)	2,912	3,346
有形固定資産合計	23,900	24,142
無形固定資産		
のれん	361	289
その他	1,637	1,754
無形固定資産合計	1,999	2,043
投資その他の資産	3,600	3,605
固定資産合計	29,500	29,791
資産合計	51,409	53,771

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,408	4,166
短期借入金	12,007	13,628
未払法人税等	444	273
賞与引当金	449	524
事業再編引当金	88	83
その他	2,266	2,416
流動負債合計	18,665	21,094
固定負債		
長期借入金	4,500	3,091
再評価に係る繰延税金負債	4,158	4,084
退職給付に係る負債	5,215	5,272
その他	752	809
固定負債合計	14,627	13,257
負債合計	33,292	34,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
資本剰余金	823	823
利益剰余金	87	906
自己株式	△324	△325
株主資本合計	11,958	12,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226	219
繰延ヘッジ損益	△3	△1
土地再評価差額金	6,099	5,966
為替換算調整勘定	△331	147
退職給付に係る調整累計額	△483	△375
その他の包括利益累計額合計	5,506	5,956
少数株主持分	652	684
純資産合計	18,117	19,419
負債純資産合計	51,409	53,771

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	21,644	21,297
売上原価	13,291	12,828
売上総利益	8,352	8,469
販売費及び一般管理費	7,084	7,149
営業利益	1,268	1,319
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	22	32
受取保険金	—	28
為替差益	—	2
その他	88	42
営業外収益合計	122	116
営業外費用		
支払利息	188	133
為替差損	28	—
事業再編損	450	—
その他	93	66
営業外費用合計	760	200
経常利益	629	1,236
特別利益		
固定資産売却益	1	8
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	5	8
特別損失		
固定資産除売却損	10	19
減損損失	—	207
その他の投資評価損	10	—
特別損失合計	20	226
税金等調整前四半期純利益	614	1,018
法人税、住民税及び事業税	334	377
法人税等調整額	△23	△60
法人税等合計	311	317
少数株主損益調整前四半期純利益	303	701
少数株主利益	44	14
四半期純利益	259	686

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	303	701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247	△6
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	242	523
退職給付に係る調整額	—	108
その他の包括利益合計	493	627
四半期包括利益	796	1,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	712	1,269
少数株主に係る四半期包括利益	83	58

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	614	1,018
減価償却費	541	575
減損損失	—	207
のれん償却額	72	72
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△24	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	4
受取利息及び受取配当金	△33	△42
支払利息	188	133
売上債権の増減額(△は増加)	△852	△478
たな卸資産の増減額(△は増加)	△198	△1,371
仕入債務の増減額(△は減少)	1,115	785
その他	39	117
小計	1,463	1,020
利息及び配当金の受取額	34	44
利息の支払額	△185	△133
法人税等の支払額	△405	△570
営業活動によるキャッシュ・フロー	907	360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△104	△30
定期預金の払戻による収入	147	37
有形固定資産の取得による支出	△311	△582
有形固定資産の売却による収入	3	12
その他	△288	△186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△553	△748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,802	1,419
長期借入金の返済による支出	△2,733	△1,310
その他	△55	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	14	61
現金及び現金同等物に係る換算差額	125	99
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	492	△227
現金及び現金同等物の期首残高	4,785	6,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,278	6,074

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,014	2,380	20,395	1,249	21,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	517	536	663	1,200
計	18,033	2,898	20,932	1,913	22,845
セグメント利益	1,020	244	1,264	26	1,291

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,264
「その他」の区分の利益	26
セグメント間取引消去	△23
四半期連結損益計算書の営業利益	1,268

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,764	3,186	19,951	1,346	21,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	459	476	580	1,057
計	16,782	3,645	20,428	1,927	22,355
セグメント利益	944	393	1,338	13	1,352

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,338
「その他」の区分の利益	13
セグメント間取引消去	△32
四半期連結損益計算書の営業利益	1,319

4. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	14,798	3,256	369	3,221	21,644	—	21,644
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,528	—	10,493	7	15,029	(15,029)	—
計	19,326	3,256	10,862	3,228	36,674	(15,029)	21,644
営業利益	721	246	323	227	1,519	(251)	1,268

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,719	3,560	371	3,646	21,297	—	21,297
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,853	—	10,046	5	15,904	(15,904)	—
計	19,572	3,560	10,417	3,651	37,202	(15,904)	21,297
営業利益	970	218	370	213	1,772	(452)	1,319

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

- (1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。
- (2) 各区分に属する主な国又は地域
 - ① 北米……米国、カナダ
 - ② 東南アジア……台湾、タイ
 - ③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,392	6,723	5,127	15,243
II 連結売上高(百万円)				21,644
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.7	31.1	23.7	70.4

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,673	5,720	5,323	14,717
II 連結売上高(百万円)				21,297
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.2	26.9	25.0	69.1

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

- ① 北米……米国、カナダ
- ② 欧州……イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア
- ③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米